

# 疾病治療学A

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：疾病治療学概論を踏まえ、疾患の成立にかかわる基本的病態の概念を述べ、各臓器・器官がどのような病態と なって疾病へと移行して要治療となるのかを学習する。ここでは、呼吸器疾患、循環器疾患、代謝・内分泌疾患について学習 する。

■**到達目標**：各臓器・器官の機能のメカニズムと心身の相関関係について理解し、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護 実践に必要な健康障害と診療方法の基礎的知識を習得する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎甲谷 哲郎・秋江 研志・和田 典男 他

## ■授業計画・内容：

呼吸器疾患：肺・呼吸調節系の解剖・生理の知識を基に、 症状の発現原因を学ぶとともに、看護を行う 上で必要な各種呼吸器疾患の成因・病態・診断・ 治療法の知識を学習する。

第1回 呼吸器感染症  
疾患の種類と病態及び治療法、スタンダードブレ コーション  
(対応する教科書の項目：感染症)

第2回 気道疾患・間質性肺炎  
肺機能検査の基礎、気管支喘息及び慢性閉塞性肺 疾患の診断と治療  
(対応する教科書の項目：アレルギー性疾患の気 管支喘息・閉塞性疾患)  
間質性肺炎を起こす疾患、呼吸器疾患とアレルギー反 応  
(対応する教科書の項目：アレルギー性疾患・拘 束性肺疾患)

第3回 呼吸不全及び呼吸調節・臨床腫瘍学  
呼吸不全の種類と病態  
(対応する教科書の項目：肺循環障害・換気異常)  
臨床腫瘍学概論

第4回 腫瘍性疾患  
肺癌、転移性肺腫瘍、喫煙の害について  
(対応する教科書の項目：腫瘍・胸腔疾患)

第5回 胸腔疾患  
縦隔疾患、気胸、悪性胸膜中皮腫  
(対応する教科書の項目：胸腔疾患)

循環器疾患

第6回 先天性心疾患、虚血性心疾患  
(教科書第1巻p424-442)

第7回 心膜疾患、心筋症 肺性心、肺塞栓症、心不全  
(教科書第1巻p442-475)

第8回 感染性心内膜炎、弁膜症、ショック、心臓腫瘍  
(教科書第1巻p480-515)

第9回 血圧異常、不整脈疾患  
(教科書第1巻p517-541)

第10回 血管の疾患(教科書第1巻p543-552)

代謝・内分泌疾患：教科書第2巻第8章

第11回 内分泌疾患(1)

第12回 内分泌疾患(2)

第13回 代謝疾患(糖尿病)(1)

第14回 代謝疾患(糖尿病)(2)

第15回 代謝疾患(高脂血症他)

■**教科書**：『臨床病態学』第1・2巻／(ノーヴェルヒロカワ)

■**参考文献**：

■**成績評価基準と方法**：試験(80%)、出席状況と授業態度(20%)

評価方法	到達目標	評価基準	評価割合 (%)
定期試験	◎	60%以上の正解をしていること	80
授業態度	○	積極的な姿勢	20
出席	◎	2/3以上の出席	欠格条件
その他			

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：講義をうける前に教科書の対応している部分を読んでおくこと。ある程度 教科書の内容を理解していることを前提に授業を行う。